

問一【漢字】 a 風化 b 前提 c 思惑 d 露骨 e 通人

◇ 日常でも使われやすい漢字です。しっかりと覚えておきましょう。

問二【言葉】 E

◇ 「言ひ果(おほ)す」は「言い尽くす・残るところなく表現する」意で、「何かある」は反語です。全体としては「残るところなく表現して何になるのか(それよりも余情のあるほうがいいのだ)」という意味になります。古くから、日本の美学を言い表してきた表現です。

問三【文脈】 2

◇ 段落2に、日本の知識人たちが日本語の非論理性にコンプレックスをいだいてきたことが記されています。これは、**島国(日本)言語と大陸(ヨーロッパ)言語の論理が違うことを理解されていないことに原因**があるとして述べています。脱文はその現状を批判する内容なので、段落2の最後に挿入されるべきです。

問四【文脈】 大陸言語とは違った種類の論理が内在する(点。) (19字)

◇ 段落3以降には、島国言語と大陸言語の特質に大きな差異が生じるということを述べています。それをまとめているのは、段落2の最終文「日本語が：いないのである。」です。

問五【表現】 何人かが入った食堂で、うなぎを注文する場合。(22字)

*基準：場面として無理なく成り立ち、かつ状況がわかるように説明されていれば可。

◇ 「AはBだ。」という文は、基本的に「A||B」という意味です。そのため、問われている文のまま受け取ると意味が通じません。

しかし、日本語は「言ひおほせて何かある」を美德とする言語です。文脈によって「**僕(が注文したの)はうなぎだ。**」という意味であると理解できます。

これは「うなぎ文」として、日本語学という学問ではとても有名です。ネットで検索してみてください。皆さんも、「私はパスタ。」や「僕はうどん。」と言っていないませんか。

問六【文意】イ・オ ※順不同。

- ◇ 「腹芸」とは「演劇で、役者が言語・動作を使わずに人物の心理を表現すること」であり、ここでは自分の思いの真意をあえて口に出して言わずに表現するとともに、相手の思いも同様に理解することです。これに相当するのは、イとオのみです。

問七【主題】表現の受け手の理解力に期待し、真意をすべて言い尽くさない

(という特徴。) (28字)

*基準…①受け手への「尊重」や「期待」、②「本心」「真意」を表さないことが書かれていればよい。／字数オーバーや字数不足は0点。

- ◇ 「沈黙」とは「何も言わない」ということです。本文の内容に即して言えば、「いいたいことの真意」を語らない、ということ。さらに、「受け手」というキーワードが繰り返されています(同じ、あるいは似た意味の語句が繰り返されていたら要チェックです)。「島国言語は表現の受け手の立場を尊重する(段落三)」からこそ、受け手の理解力に期待し、全てを言わないのです。これらが書いてあれば、正解とします。

◇ POINT! 繰り返し返されるキーワードに着目しよう。